

こともあって、阪神間にスペイン語圏の知り合いが何人かおり、そのうちの一人は神戸市東灘区に住んでいた。翌18日、その地域でガスタンクに亀裂が入り避難勧告が出された。心配して電話すると、案の定、彼は何も知らなかった。日本語を話さない彼には、避難勧告が情報として伝わっていなかったのだ。きっと多くの外国人が、言葉の壁によって必要な情報を知らされず、不安にかられているに違いない。

19日、個人的なつてを辿って7言語の通訳者を揃え、英字新聞とFMラジオを通じて、外国人向けホットラインを開設したことを広報した。チラシを作り、被災地向かうトラックに貼ってもらったりしたこともあって、すぐにその存在は知られるようになり、電話が殺到した。

20日、専用の事務所と電話回線を手配し、「RINK」(すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク)の例会で協力を要請した。そして22日には、RINKの呼びかけに応じて集まった20近くの団体により、「外国人地震情報センター」(以下「情報センター」)が発足した。

情報センターは13言語で相談に対応する体制を組み、半時間で約1000件の個別相談を受け付けた。同時に、避難所を巡回して困っていることなどを聞き出し、共通性の高い問題については各言語のニュースレターにまとめて、定期的に配布した。

外国人の相談窓口は、兵庫県警や県国際交流協会といった公的機関も開設した。しかし、それらの機関よりも情報センターの方が頼りにされたのは、一つには対応言語の種類が多かったこと、二つめは、入管への通報はしないことを強調し、超過滞在者なども安心して相談できるよう配慮したことが要因だ。

さらにもう一つ、情報センターの活動で特筆されるのは、情報を流すだけでなくその「メンテナンス」も行ったこと。たとえば、見舞金が支給されるという情報だけ知ることができても、窓口に行つて言葉が通じなければ何にもならない。そこで、ニュースレターにそういった情報を掲載するときは、必要であれば通訳を派遣する旨を必ず付記した。

外国人地震情報センターは、95年10月に多文化共生センターと名称を変更し、災害対応にとどまらない長期的な活動を継続していくことにした。それは、日常的な暮らしの中で日本人と外国人の格差や差別をなくし、異文化の人々が共生できる基盤をつくっていくことこそ、いざ災害が起こったとき大きな力になることを実感したからだ。

外国籍市民と一口に言っても、求める情報は出身地域によって異なる。たとえば、地震のあまりない南米出身者には、余震への備え

を助言する際にまず「余震とは何か」を説明する必要がある。また、住んでいる場所や被害状況によってニーズは違うし、時間の経過によっても必要な情報は変化していく。こうした多様な要素を、行政による一律的な情報提供(あるいはその機械的な翻訳)で充足させることは不可能であり、日常的に築かれた地域コミュニティの力が問われることになる。

みんな喜んで行く避難所

04年10月23日、新潟県中越地震が発生した。震度6を記録した長岡市には、2000人以上の外国人登録者があり、特に中国、ブラジルからの季節労働者が多かった。田村さんは本震の翌々日に長岡市へ入り、避難所を回ってニーズの把握などに努めるとともに、必要とされている情報を多言語に翻訳してフィードバックする作業を行った。

10年前と変わったのは、IT技術の高度化とIT環境の普及だ。原稿を長岡で作成し、神戸のコミュニティ放送局「FMわいわい」で翻訳と音声データへの変換を行い、これを長岡でダウンロードするという方法によって、地元のコミュニティFMでの多言語による情報提供を行った。もちろん、携帯電話やインターネットも活用した。

田村さんが、今も強く印象に残っている避難所がある。それは長岡市内のある小学校で、



阪神・淡路大震災を機に設立された、多言語FM局わいわいのスペイン語番組収録風景(2000年)。

災害列島を生きる 17
—自治体に託された教訓

阪神・淡路大震災

災害時における外国人支援

—問われる地域の「多文化共生」



阪神・淡路大震災DATA

1995年1月17日(火)5時46分発生。マグニチュード7.3。死者6434人、負傷者4万3792人。全壊及び半壊棟数24万180棟。避難者31万6678人(ピーク時)。外国籍の人々の人的被害は、兵庫県被災地全体での死者数173人、うち神戸市151人。人口に対する死亡率の比率は、日本人に比べて約1%高い(1996年1月発行「阪神大震災と外国人」外国人地震情報センター編による)。

日本語だけの避難勧告

現在、NPO法人多文化共生センターの理事を務める田村太郎さんは、95年1月17日、兵庫県伊丹市の自宅で阪神・淡路大震災に遭遇した。3か月前にペルー人女性と結婚した

